

# ① 宮野原～灰雨地区

拡大図

この洪水ハザードマップは、新潟県が作成した浸水想定区域をもとに、想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し堤防が決壊した場合に想定される浸水範囲と水深、避難所等の位置などを地図に示したものです。

**凡例**

**浸水深**

- 10.0～20.0m
- 5.0～10.0m
- 3.0～5.0m
- 0.5～3.0m
- 0.5m未満

浸水想定区域の対象となる河川

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 氾濫流
- 河岸侵食

早期の立退き避難が必要です。  
河川の氾濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

過去の浸水実績(令和元年10月)

**土砂災害警戒区域**

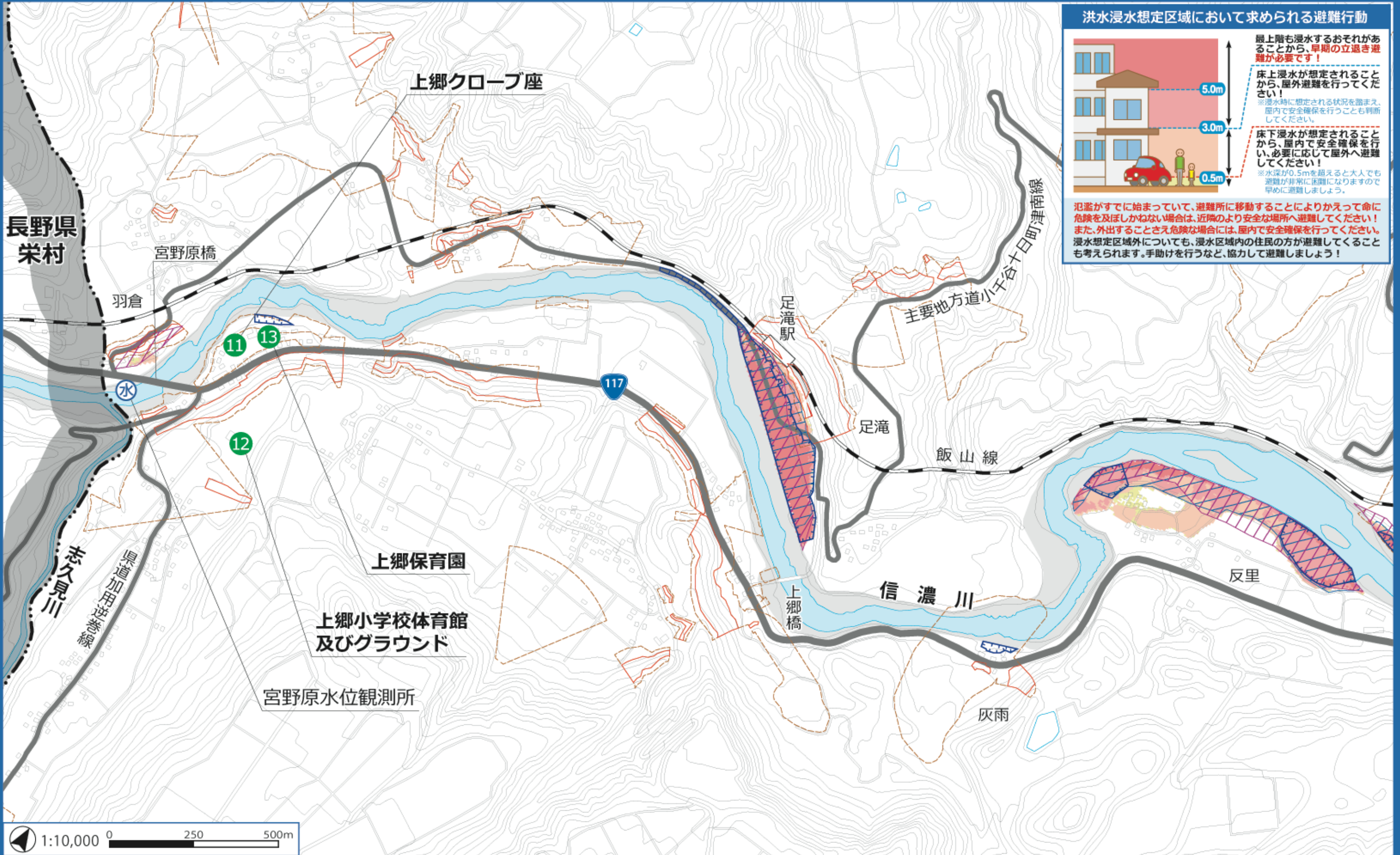
以下の区域は**早期立退き避難**が必要です

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

**地図中の記号**

- 指定避難所
- 水位観測所
- 主要道路(国道・主要地方道・県道)

・浸水実績とは、令和元年東日本台風(19号)で浸水した区域を图示しています。  
・土砂災害警戒区域とは、新潟県が指定した土砂災害(がけ崩れ、土石流、地すべり)のおそれがある地域をいいます。  
・雨の降り方や土地の状況によっては、土砂災害警戒区域以外の場所でも危険となることがありますので、十分に注意してください。



**洪水浸水想定区域において求められる避難行動**

最上階も浸水するおそれがあることから、**早期の立退き避難**が必要です！

床上浸水が想定されることから、**屋外避難**を行ってください！  
※浸水時に想定される状況を読み、屋内で安全確保を行うことも判断してください。

床下浸水が想定されることから、**屋内で安全確保を行い、必要に応じて屋外へ避難**してください！  
※水深が0.5mを超えると大人でも避難が非常に困難になりますので、早めに避難しましょう。

氾濫がすでに始まっていて、避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、**近隣のより安全な場所へ避難**してください！  
また、外出することさえ危険な場合には、**屋内で安全確保**を行ってください。  
浸水想定区域外についても、浸水区域内の住民の方が避難していただくことも考えられます。手助けを行うなど、協力して避難しましょう！